

# 平成28年度 地域ケアプラザ事業報告書

## 1 施設名

横浜市港南台地域ケアプラザ

## 2 事業計画

### 地域の現状と課題について

- ・当ケアプラザの担当エリアの人口は平成28年3月31日現在28,946人(男性13,942人、女性15,004人)。人口推移は平成11年頃より減少傾向にありますが、65歳以上は7,993人と前年度より308人(3.8%)増になっており高齢化率は前年度26.3%から27.3%(1%増)になっています。
- ・高齢者世帯数は夫婦のみ1,392世帯、単独1,154世帯であり、要介護、要支援の認定者数は1,172人(14.5%)です。
- ・認知症の方も増えていますが、元気な高齢者も多く、老後の生活についての関心や意識も高く、心身の健康維持や老化予防として、各種運動活動や仲間づくりへの参加も多くみられます。
- ・昭和50年頃の開発当初から生活されている方の大半が70歳以上になるなか、
  - ①一人暮らしの高齢者の緊急時の対応
  - ②老老介護の介護力不足
  - ③認知症への地域(家族含む)の理解不足
  - ④エレベーターのない集合住宅や、坂が多いことから高齢者の外出困難
  - ⑤巨大なUR賃貸住宅での転出入も多く、地域の住民同士の交流が少ない
  - ⑥地域福祉に係るボランティアの高齢化の課題が見られます。
- ・また、港南台には様々な障がい者支援関連施設や特別支援学校があり、さらに平成28年には重度心身障がい者施設が開所しました。社会に参加しやすい環境づくり、仕組みづくりが求められています。
- ・高齢者、障がい者、子育てなど幅広い層への支援が必要であるとともに、住民同士のつながりやお互いの顔が見え気軽に声掛けができる関係作り、ボランティアの掘り起し、育成、ネットワーク化も必要となっています。

地域包括ケアシステムの構築を目指し、重点目標は下記です。

- 地域の事業・団体と連携しウォーキングやノルディックウォーキングの取組を推進
- 認知症予防・認知症サポーター養成講座や認知症家族への支援
- 地域資源の情報の把握と整理
- ボランティアの発掘・育成・交流とネットワーク化の仕組みづくり
- 地域防災拠点と連携し、特別避難場所の開設訓練の実施
- 障がいのある方が地域で安心して元気に暮らせるよう理解・啓発
- 地域の社会資源の整理と活用のため、地域活動マップや福祉施設マップを作成

## 施設の適正な管理について

### ア 施設の維持管理について

- ・施設の保守業務、清掃業務、環境管理業務については、当施設を含むビル全体の施設保守業務を行っている会社に委託し、施設の定期点検並びに適切な維持管理を行いました。
- ・20年を経過した施設、建物の維持管理には、年数経過による故障も予測されます。日常の管理を通して不都合の早期発見に努め、適切・迅速に対応しました。
- ・委託会社の清掃の他にクリーンスタッフが清掃を行い、清潔な状態で利用していただけるよう心掛けています。毎朝、職員が施設内の巡回を行い、安全に事業が行えるようチェックし、外回り清掃についても委託会社が行うほかに職員も行いました。

### イ 効率的な運営への取組について

- ・介護保険の適切な請求による収入の確保、経費節減の徹底による支出の抑制を基本的な取り組み姿勢として、事業計画に沿った適正な予算執行を行いました。
- ・法人の所長会で情報共有や同じ課題の検討を行ない、業務の見直しや推進に努めます。また、ケアプラザの4部門、各専門職間でそれぞれの特性を活かした連携が取れるように、適宜会議の開催により意見調整を行い効率的な施設運営に心がけました。

### ウ 苦情受付体制について

- ・ケアプラザ利用に際して、ご意見や苦情などについては、いつでも気兼ねなくお話し頂けるよう「苦情受付責任者・苦情受付担当者」を選任し来館時に目に見える場所に掲示、またサービス提供時に文章等で説明をきちんと行いました。
- ・「苦情」については、法人の「苦情解決規定」に沿って対応いたしました。
- ・施設内入口に「意見箱」を設置、また「ご意見ダイヤル」の案内を掲示し、いつでもどなたでもご意見を受け付けられるようにし、利用者の声を施設運営に反映させていきました。また「第三者委員会」を開催して、指導・助言をいただき、問題解決に反映する取組みを行いました。
- ・毎年実施している利用者アンケートや通所介護での嗜好調査を行い、結果を施設内に掲示、プラザ便りやデイ新聞等で公表するとともに、振り返り・改善を図っていきました。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ビル管理会社及び警備会社に委託し異常時に即刻対応できるようにしました。
- ・防犯対策として、済生会横浜市南部病院の警備部門と連携し、定期巡回等、状況に応じた対策を講じていきました。
- ・消防法に基づく自主防災訓練及び自主消防訓練、ビル管理会社や済生会横浜市南部病院が行う防災訓練に参加し、職員の意識向上に努めました。また、港南台第二小学校地域防災拠点と連携し、地域の防災訓練にも積極的に参加しました。
- ・地震発生時は、速やかに施設の点検・確認、区への報告を行い、横浜市と締結している「特別避難場所」の開設に向けてマニュアルに基づき行動します。また、災害時に各職員と連絡が途絶えないように様々な手段での緊急連絡網の整備を検討し、迅速、確実、安全な対応が取れる体制づくりに努めました。
- ・AEDが施設内に設置してあり、利用者の急病発生時には迅速に対応いたします。また、全職員を対象にAED研修を実施しました。
- ・施設利用者が感染症を疑うような状態が生じた場合に、すぐに対応できるよう常に感染症対応グッズを用意、職員へも研修を行いました。また、手洗いの必要性や方法について館内に掲示しました。
- ・その他、緊急時対応のマニュアルは適時見直し、実情に沿った改善を図りました。

#### オ 事故防止への取組について

- ・事故防止のためヒヤリハット事例などリスクマネジメントについて、ミーティング、諸会議や研修等で逐次職員に周知し、常に事故防止の意識を高めました。
- ・ヒヤリハット事例については、事故防止対策委員会、職員会議において、その原因と今後の対応策などについて検討し、その結果を速やかに周知することにより職員の共通認識と注意喚起を促し、事故防止に取り組んでいきました。
- ・「事故防止・発生時対応マニュアル」で明確にしているように「事故報告（第一報）の電話連絡経路」「港南台地域ケアプラザ利用者救急対応フロー図」を常に確認できるよう事務所やデイルーム内に掲示しました。

#### カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・個人情報保護について、全職員に対しては個人情報保護に関する研修を年2回実施し、その重要性を周知徹底するとともに、横浜市個人情報保護条例を遵守し、退職後も同様とする旨の周知を行ってまいりました。
- ・年度初めの研修終了後、個人情報保護の重要性を職員に意識づけするため、「個人情報保護に関する誓約書」の提出、「地域ケアプラザ個人情報漏えい防止チェックシート」を実施しました。
- ・利用者、実習生、ボランティアからも、契約時に個人情報の保護に関する誓約書や同意書を得るなど徹底を図っていきました。

#### キ 情報公開への取組について

- ・ 情報発信の重要なツールであるケアプラザ広報紙「プラザ便り」「デイ新聞」を毎月発行しました。地域の多くの皆様に読んでいただけるよう、内容や表示等更に工夫改善を図りました。
- ・ 配布については、より広く周知できるよう自治会での回覧、民生委員・児童委員協議会の定例会での情報提供の他、施設内外での事業開催時に、積極的に広報しました。
- ・ 介護サービス情報公表制度の活用や、同一法人の済生会横浜市南部病院のホームページに併設している当プラザのホームページを活用して、地域の方に情報を公開しました。
- ・ 施設内においても、利用者等に施設の年度計画や実績等自由に閲覧できるよう公開しました。

#### ク 人権啓発への取組について

- ・ 年間計画に沿った研修の実施に取り組むとともに、チームづくりに関する研修への参加を積極的に進め、円滑なコミュニケーションがもたらす職場環境の向上を目指しました。
- ・ 職員の資質向上では、外部研修の受講をはじめ、介護福祉士を目指すデイサービス職員の同資格試験直前模擬講習会への参加費用の一部を新たに助成しました。
- ・ 横浜労働基準監督署と横浜市等が合同で企画した「社会福祉施設の災害防止対策と健康づくり」に参加するなど、広く職員の健康をテーマとした研修等にも参加をしました。
- ・ 各種研修の受講後は、研修報告書を作成・供覧し、職員全体のレベルアップを心がけました。
- ・ 職員との面接は、非常勤職員全員と所長等との個別面談を実施しました。

#### ケ 環境等への配慮及び取組について

- ・ 施設内の節水、節電により一層努めるとともに、冷暖房温度の設定にも十分配慮した対応を行い、環境にやさしい施設運営を心掛けました。
- ・ ごみの減量化については、分別によるリサイクル化の継続的な取り組みを推進していきました。
- ・ インクカートリッジの回収ボックスを設置して、地域の方にも協力をお願いしていきました。

## 介護保険事業

### ● 介護予防支援事業

#### 《職員体制》

・保健師	常勤	1名
・主任ケアマネジャー	常勤	0名
・社会福祉士	常勤	2名
・介護支援専門員	非常勤（兼務）	1名

#### 《目標》

- ・介護予防プラン作成にあたり、到達可能な目標設定を行うことで、利用者本人が少しでも前向きになれるよう、また生活の中で身体機能の維持につながることを具体策として計画の中に盛り込んでいます。また、プラン1枚で利用者の生活状況が把握できるように、介護保険外の活動内容を具体策として組み入れています。
- ・専門職としての知識を活用できるように積極的に担当者会議に出席し、利用者の状況にあった支援が出来るよう、情報提供していきましました。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 通常のサービス地域を越える地域に訪問・出張がある場合には、その旅費（実費）の負担をお願いすることがありますが、発生には至りませんでした。

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・委託先のケアマネジャーに対して、より良いケアマネジメントが実施できるよう予防プランの相談など個別支援を実施しました。
- ・地域のサロン、体操教室などの情報も収集し、委託先のケアマネジャーに情報提供しました。

#### 《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
232	231	231	232	229	224
10月	11月	12月	1月	2月	3月
229	220	224	224	226	220

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・ 介護支援専門員（管理者） 常勤 1名
- ・ 介護支援専門員 常勤 2名
- ・ 介護支援専門員 非常勤（兼務） 1名

《目標》

「住み慣れた地域で、ご本人・ご家族が安心して暮らし続けられるように」を目標に、その方の思いや生活状況の把握に努め、介護保険サービスだけでなく、地域資源を組み入れた支援を提案しました。認知症や精神疾患をかかえた高齢者、暴力やネグレクト等の虐待ケースも、各支援関係機関と連携を図り支援しました。また緊急時や災害発生時に、適切な支援につなげられるように「災害緊急ケースファイル」の更新に努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 通常のサービス実施地域を超える地域に訪問・出張がある場合は、その旅費（実費）の負担をお願いすることがあります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域ケアプラザ内にある居宅介護支援事業所であり、地域の関係者や民生委員と顔の見える関係が作りやすく、包括支援センターや区役所と連携を図れることにより、地域で安心して暮らせる支援体制ができています。

指定管理者を受託している居宅介護支援事業所としての役割を地域へ広報し、支援体制を強化することで、地域住民の皆様が心身ともに健やかに安心できる生活が実現するように、地域・医療・福祉の連携に努めました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
93	91	93	95	99	99
10月	11月	12月	1月	2月	3月
98	106	107	113	115	113

● 通所介護事業

《職員体制》

・ 管理者	常勤（兼任）	1名
・ 看護師	非常勤（兼任）	5名
・ 機能訓練指導員	非常勤（兼任）	5名
・ 生活相談員	常勤	2名
・ 生活相談員	非常勤（兼任）	1名
・ 介護員	常勤	1名
・ 介護員	非常勤	14名
	（内1名生活相談員兼任）	

《提供するサービス内容》

- 入浴

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

①基本料金（一日）

	1割負担	2割負担
要介護1	704円	1407円
要介護2	831円	1662円
要介護3	963円	1926円
要介護4	1095円	2189円
要介護5	1227円	2453円

②加算（一日）

サービス体制強化加算 I 1

	1割負担	2割負担
サービス体制強化加算 I 1	20円	39円

③入浴加算（一回）

	1割負担	2割負担
入浴介助加算	54円	108円

④食費（一食・おやつ代も含む）

御食事代（実費）	700円
----------	------

☆別途、介護職員処遇改善加算が加わります。

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:30 ~ 16:35

《目標》

- ・ サービスの質の向上  
レクリエーション・行事の充実を図ります。又設備の点検整備や修繕を行い、過ごしやすい環境をつくりました。
- ・ 職員の能力の向上  
定期的な勉強会の開催を行い、介護技術等のスキルアップを図りました。外部研修への参加を積極的に行い、伝達研修により情報の共有化を図りました。

- ・利用者一日17名の確保  
新規利用者の確保・定着に努めます。又、臨時利用（スポット利用）の対応も積極的に行いました。  
居宅介護支援事業所へ空き状況等のお知らせを定期的に配布し、PR活動を行いました。  
さまざまなニーズに応えられる様、個別対応も検討していきました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・定期的な研修により、スタッフのスキルアップを行い専門的なケアを提供しました。
- ・昼食について、利用者アンケートを活用し、毎月の給食会議にて話し合いを行い、利用者の満足度を高めました。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
383	372	379	379	368	394
10月	11月	12月	1月	2月	3月
424	410	368	369	396	428



● 介護予防通所介護事業

<<職員体制>>	・ 管理者	常勤（兼任）	1名
	・ 看護師	非常勤（兼任）	5名
	・ 機能訓練指導員	非常勤（兼任）	5名
	・ 生活相談員	常勤	2名
	・ 生活相談員	非常勤（兼任）	1名
	・ 介護員	常勤	1名
	・ 介護員	非常勤	14名
		（内1名生活相談員兼任）	

<<提供するサービス内容>>

- 介護予防通所介護
- 日常生活支援総合事業
- 介護予防・日常生活支援総合事業選択サービス  
（運動器機能向上・口腔器機能向上）

<<実費負担（徴収する項目ごとに記載）>>

① 基本料金（月額）

	1割負担	2割負担
要支援1	1766円	3531円
要支援2（週1回程度）	1766円	3531円
要支援2（週2回程度）	3621円	7241円

② 加算（月額）

	1割負担	2割負担
サービス体制強化加算 （要支援1）	78円	155円
サービス体制強化加算 （要支援2 週1回程度）	78円	155円
サービス体制強化加算 （要支援2 週2回程度）	155円	309円
運動器機能向上加算	242円	483円
口腔機能向上加算	161円	322円

④ 食費（一食・おやつ代も含む）

御食事代（実費）	700円
----------	------

☆別途、介護職員処遇改善加算が加わります。

<<事業実施日数>> 週 7 日

<<提供時間>> 9:30 ~ 16:35

<<目標>>

- ・ 運動器機能向上と口腔器機能向上については、現在利用されている方や見学で来所された方等にその目的や効果を説明し、より多くの方に参加していただけるよう努めました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 済生会横浜市南部病院の理学療法士と歯科衛生士に機能向上のためのプログラムの作成を依頼して、毎月の評価を行いました。又、3ヶ月に一度、プログラムを見直しました。
- ・ プログラムの内容は家でも気軽に無理なく一人で出来る運動でわかりやすく指導しました。またサービス利用日は個別にボール運動・自転車漕ぎ・歩行練習・ゴムバンド運動等のプログラムも行いました。

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
11	11	12	9	10	9
10月	11月	12月	1月	2月	3月
8	7	9	9	10	9

## 地域ケアプラザ

### 1 総合相談（高齢者・こども・障がい分野への対応）

- ・地域の社会資源の創出及び地域課題の解決に向けて、連合自治会や社会福祉協議会、民生委員児童委員の定例会に参加し、地域情報の把握とともに地域住民との関係性の構築に努めました。
- ・今年度から配置された生活支援コーディネーターを中心に地域活動や支援ニーズの把握、地域資源の情報を共有しニーズと資源を分析、多様な資源の充実に向けて多職種と連携を図りながら取り組みました。
- ・ギャラリースペースを活用して、団体紹介やパネル展、作品展を行いました。パネル展では連合自治会、地区社会福祉協議会が新たにパネルを製作し自治会活動や社会福祉の広報に努めました。作品展は折り紙や押し花絵画、パステルアートを展示したことで地域住民の来館者が増え、地域住民の交流の機会が増えました。
- ・連合自治会、社会福祉協議会、活動団体と協働し、商業施設とケアプラザを会場にケアプラフェスタを2回開催しました。港南台地区社会福祉協議会の「認知症について」、ケアプラザ職員の「振り込め詐欺防止啓発」の寸劇を行ったほか、消費生活や子育て支援、国際交流、介護に関する相談コーナーを設置しました。地域の身近な相談窓口としての機能を広く周知しました。
- ・港南台の総合福祉相談会やケアプラフェスタで相談コーナーを出し、地域の様々な相談を受けました。
- ・同じビル内にあるJA港南台店で年金支給日の午前中に出張健康相談を行いました。健康相談の他、物忘れチェック、フットケア実演等を行い、早い段階から興味を持ち、介護予防や早めの相談につながることを目指しました。来年度も継続していきますが、相談会の形だけでなく、JAのホールを使った講座の開催等の企画を進めていきます。

#### 【次年度の課題・目標】

- ・引き続き、近隣事務所（JAなど）や福祉関連施設との顔の見える関係づくりを広げ、地域ケアプラザで受けた相談を地域全体で支えられているようなネットワークの構築を目指しました。

### 2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携(生活支援体制整備事業も含む)

- ・港南区社会福祉協議会と協働して「住民支えあいマップ研修会」を開催しました。地域住民からのご要望に応じて在宅医療やUR、区役所、区社協の参加により「地域ケア会議」を開催しました。住民同士の顔がつながることで助け合いや防災に関する取組がさらに進められると地域住民より感想がありました。
- ・地域住民と協働して、地域資源を活用しながら健康づくりの推進に努めた「うたカフェ」を年4回開催しました。毎回、参加申込者数が多く定員の調整を行いながら多くの方々にご参加いただきました。
- ・中学生を対象とした「認知症サポーター養成講座」を港南台第一中学校で開催し、次世代ボランティア（担い手）の育成に取り組みました。

#### 【次年度の課題・目標】

- ・地域住民と協働して、地域資源を活用しながら健康づくりの推進に努めていきます。

### 3 職員体制・育成

- ・年間計画に沿った研修の実施に取り組むとともに、チームづくりに関する研修への参加を積極的に進め、円滑なコミュニケーションがもたらす職場環境の向上を目指しました。
  - ・職員の資質向上では、外部研修の受講をはじめ、介護福祉士を目指すデイサービス職員の同資格試験直前模擬講習会への参加費用の一部を新たに助成しました。
  - ・横浜労働基準監督署と横浜市等が合同で企画した「社会福祉施設の災害防止対策と健康づくり」に参加するなど、広く職員の健康をテーマとした研修等にも参加をしました。
  - ・各種研修の受講後は、研修報告書を作成・供覧し、職員全体のレベルアップを心がけました。
  - ・職員との面接は、非常勤職員全員と所長等との個別面談を実施しています。
- 【次年度の課題・目標】
- ・引き続き、計画的に研修を実施していくとともに、外部研修等へ積極的に参加できる職場環境づくりに努めます。

### 4 地域福祉のネットワーク構築

- ・港南台第3期地域福祉保健計画の推進に向けて、「港南台支えあいネットワーク推進委員会」での話し合いが円滑かつ活発に進行するよう、支援します。また話し合いの様子や計画案について、連合自治会定例会での中間報告や広報誌を通じて地域住民へ周知しました。
- 【次年度の課題・目標】
- ・引き続き、地域特性やニーズを把握するとともに不足しているサービスや活動の創出に努め、積極的に地域へ出向き、福祉保健推進のネットワークを広めます。

### 5 区行政との協働

- ・港南台支えあいネットワーク推進委員会では事務局として、港南区役所福祉保健課港南区社会福祉協議会と協働して円滑かつ活発に進行するよう取り組みました。
  - ・特別避難場所の開設訓練として、区役所災害本部と連携して、港南台第二小学校地域防災拠点との合同訓練を実施しました。
  - ・港南区元気づくり推進フォーラムでは、学び舎ひまわりの卒業発表「マイプラン」を参加者代表として地域活動交流コーディネーターが発表しました。
  - ・地域支援チーム会議を定期的に開催して、区制推進部の地区担当と連携して、地域を支援しました。
- 【次年度の課題・目標】
- ・引き続き、区役所関係機関等との連携を深めて、協働して円滑かつ活発に進行するよう取り組みます。

## 地域活動交流部門

### 1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・各種団体（民児協、社協、連合自治会等）の定例会や地域行事（駅前清掃、夏祭り、キャンドルナイト等）に積極的に参加し、地域の情報収集を行ない、必要な情報提供ができるよう、情報の整理に努めました。
  - ・事業の告知や報告、地域の福祉保健活動団体の紹介、地域行事等を掲載する広報誌「プラザ便り」を毎月発行します。医療センターや銀行、薬局など配架設置場所を更に拡充しました。
  - ・ケアプラザのホームページ上に「プラザ便り」を毎月掲載し、閲覧できるようにしたことで、幅広い世代の方に情報を提供しました。
  - ・地域防災拠点（港南台第二小学校エリア）の定例会に参加して、地域防災拠点との連携強化に努めました。今年度も特別避難場所の開設訓練を地域防災拠点と災害本部（区役所）と合同で行いました。
  - ・利用者アンケートや日頃からのコミュニケーションを通して、地域や利用者ニーズの情報収集に努めました。
- 【次年度の課題・目標】
- ・すでに取り組みされている地域福祉保健活動の連携に努め、情報を集約し整理して、地域へ発信していけるよう進めます。

### 2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・ボランティア交流会を開催し、ケアプラザの利用団体に福祉保健活動への理解を深めていただきました。
  - ・趣味などのグループとも積極的に関係性を深め、作品展示（折紙、俳句、絵手紙）やボランティアのお誘いなどの働きかけを行いました。
  - ・広報紙等で地域の活動団体を紹介するとともに、インフォーマルサービスの発掘に取り組み、貸館利用率の向上を図りました。
- 【次年度の課題・目標】
- ・貸し館団体やボランティアなど交流会の実施を継続することで団体同士のつながりが深まり、地域福祉の推進に発展していくことを期待しています。

### 3 自主企画事業

- ・今年度より地域活動団体と協働して「こども食堂」を開催。開催に向けて地域の連合自治会、地区社会福祉協議会、学校、PTAに周知して、定期的に行うことができるよう継続的に支援しました。
- ・夏休みには昆虫展を開催。地域の子どもたちが地域の自然を知る機会となることを目的とし開催しました。4日間で延べ130名の子ども達が来所しました。
- ・外国籍の子育て世代の課題から検討チームが発足し、翻訳の支援活動、国際交流イベントの開催、情報提供や相談コーナーの設置の検討を行いました。
- ・子育てサークルとデイサービス高齢者との交流や障がい者の製品販売を毎月開催し地域住民とのふれあいの場の提供など、子どもから高齢者・障がい者までの人々との交流を図りました。
- ・地域の人材資源の発掘や育成の場、地域に関わるきっかけづくりとなる講座として「セカンドライフ大学校分校（パン・料理教室）」、「よこはまシニアボランティアポイント登録研修会」を開催しました。
- ・地域の福祉施設同士のネットワークづくりや福祉施設と地域住民の協働に向けた地域防災に関する事業「港南台防災を考える会」を開催しました。

- ・地域への愛着を深められるよう、横浜の歴史を学ぶ「社会科セミナー」を開催しました。普段あまり来館されない男性シニア層が多く参加されました。
- ・高齢者サロン「みち草」では、参加者の増加が見込まれていくため、運営ボランティアの育成を進めていき、各地域の特性に沿った形で開催できるよう、地域住民と協働して取り組みました。
- ・障がい者余暇支援「青年学級ないとくるーず」では、参加者の主体性を尊重し、自主的に運営が担えるよう会場設営や配膳、テーブル拭き、掃除機かけなど参加者が自主的に運営を担えるよう後方支援しました。また、トイレ介助が必要な方にはガイドヘルパーを利用するなど安心して参加できるよう努めました。
- ・不登校ひきこもり支援者を講師に迎え、ガイドボランティア活動の事例紹介と個別支援の課題について参加者と一緒に考える「ガイドボランティア研修会」を開催しました。

**【次年度の課題・目標】**

- ・外国人の子育て世代の増加が見込まれるため、地域の支援団体と協働して、安心して子育てができるよう交流の場や相談コーナーに加え、教育・学習支援機能も兼ねた事業の展開を進めていきます。

**4 ボランティアの育成及びコーディネート**

- ・障がい者の社会的自立を目指し、軽作業の習得の場としてトイレの清掃を週1回で実施しました。1年が経過してご近所より仕事を頂くまでになりガイドヘルパーと一緒に自宅のトイレ清掃や草むしり等、障がい者が地域で暮らしていけるような取り組みを支援しました。
- ・ミニデイサービス「ぺんぺん草の会」や高齢者サロン「みち草」、「ケアプラフェスタ」等でパン教室の参加者によるボランティア活動を取り組みました。
- ・よこはまシニアボランティア登録研修会を開催しデイサービスや共催事業のボランティア活動につながりました。
- ・近隣の保育園、幼稚園との交流会や小中学校の福祉体験を受け入れました。社会交流や高齢者とのふれあいの場として、総合学習（職業体験）を積極的に受け入れました。

**【次年度の課題・目標】**

- ・たくさんのボランティアと協働して取り組んだ「こども食堂」では地域で暮らすボランティアの協力が多く寄せられ、継続的に活動が行えるよう支援していきます。
- ・引き続き、ボランティア育成講座の積極的な開催や、福祉教育を継続実施し、今後も多様化する地域の課題に対応できるよう、担い手の発掘を進めていきます。

# 地域包括支援センター

## 1 総合相談・支援

### 総合相談

- ・地域の住民からの総合相談に関しては当事者のみならず、家族や地域の状況もふまえて、包括3職種が連携し、速やかに訪問して本人・家族のニーズを把握するなど総合的に支援しました。
- ・総合相談としての機能を十分に発揮するために「窓口当番」を設け、いつでも相談に対応できる体制を確保しました。
- ・内容を的確に把握し、ケアプラザの事業やケアプラザでは対応できない事業に関しては地区センター、蓬莱荘などの事業につなげました。ケースによっては法テラス、あんしんセンター、港南区生活支援センターにつなぎ継続的に支援しました。
- ・必要に応じて行政や医療機関、制度、各種制度につなげることが出来ました。生活困窮者の相談、救急対応が必要な場合など緊急性が高い相談について区役所と連携して速やかに対応しました。
- ・介護者の方から施設を見学したいがなかなか行くことが出来ないという要望からデイサービスの送迎車を利用してグループホームの見学会を開催しました。現地集合も含め10名を超える参加者がありました。
- ・一人暮らしの方が自宅で最後まで暮らしていきたいから往診についての話が聞きたいという相談から近隣の訪問診療クリニックに協力をしてもらい「訪問診療について」の講座を開くなど、ニーズに応じた講座等の開催をしました。
- ・港南台の総合福祉相談会やケアプラフェスタ（バーズの広場）、港南台コミュニティーハウスフェスティバルで相談コーナーを出して地域の様々な相談を受けました。
- ・昨年度より老人福祉センター蓬莱荘にて月1回実施している「なんでも相談会」を区社会福祉士分科会で担当し、その窓口・調整役をしました。

#### 【次年度の課題・目標】

- ・地域ケアプラザの特徴を活かし、地域活動交流・生活支援と包括支援センターが連携し、各ネットワーク構築を活かして課題把握を行い、支援につなげていきます。
- ・地域ケアプラザで受けた相談を地域全体で支えられるようなネットワークの構築を目指します。

### 地域包括支援ネットワークの構築

- ・かもめ団地で、団地内のつながりづくりや活性化に向けて、「住民支え合いマップ」を活用した話し合いを行い、より強い連携が取れるようになりました。
- ・「住民支え合いマップ」で抽出された地域の課題の解決手段、資源作りを話し合う場として、かもめ団地で地域ケア会議を8月に開催しました。元気なうちは他者との接点をあまり好まない住民が多いUR賃貸住宅において、かもめカフェ以外の効果的な取り組みについて様々な案が出ました。
- ・連合自治会や民児協の定例会への出席の他、JAでの隔月の出張講座等で包括支援センターの周知を継続的に行いました。
- ・うぐいすの杜自治会では、毎年出張講座の依頼があり、健康や認知症予防の取り組みの他、包括支援センターの紹介や介護保険制度の説明、意見交換会を行うと共に、住民同士のつながりの必要性を伝え、自主活動の働きかけを行いました。

#### 【次年度の課題・目標】

- ・今後も住民支え合いマップを活用した話し合いの場を設け、そこから抽出した地域課題を元に包括レベルの地域ケア会議を継続的に開催します。

## 実態把握

- ・ 日頃の相談や事業、地域の民生委員、自治会へ行ってきたアンケート等、地域活動団体から情報を収集し、地域での共助のしくみや活動等を把握しました。
  - ・ 相談を町別に集計して、相談内容と地域性との関係性について分析をしました。
  - ・ 民生委員の定例会に出席し高齢者の情報、地域課題の共有を行いました。
  - ・ 地域のインフォーマルサービスなどについては、生活支援と地域交流のコーディネーターが連携しながら活動の把握や関係づくりを行いました。
  - ・ 自主事業を開催した際にアンケートを実施し情報を収集し課題の共有をしました。
  - ・ 横浜市のポータルサイトの町別人口等を参考に事業の実施場所を選定しました。
  - ・ 地域の会合（連合、民児協等）に定期的に参加して情報を収集し、圏域内の実態把握に努め事業展開に活かしました。
  - ・ 地域の課題の多い団地のシルバー会に毎月1回参加して実態把握に努めました。
  - ・ 近隣のJAと協働して年金支給日に相談会を開催して実態把握に努めました。
- 【次年度の課題・目標】
- ・ 当事者のみならず家族や地域の実情をふまえ、速やかに面接や訪問を行いながら、対応します。
  - ・ 行政機関や地域の関係者、ケアマネジャーとのネットワーク構築を図り、密接な連携と情報共有により、地域のニーズを把握していきます。
  - ・ 地域における各機関の会合や催しサロン等への参加や、日ごろからの民生委員とのコミュニケーションにより地域の実情把握に努めます。
  - ・ 総合相談の分析、地域ケア会議の開催等により地域の実態を把握し、支援にいかしていきます。
  - ・ 今後も課題の多い地域のシルバー会に定期的に参加し実態把握をしていきます。
  - ・ 地域交流C○や生活支援C○とも連携しながら、地域課題や支援ニーズの実態把握に努めます。

## 2 権利擁護

### 権利擁護

- ・ 成年後見制度が必要となるケースは区役所や専門職（弁護士・司法書士・行政書士など）と連携をとりながら、被後見人の利益が最大限確保されるよう支援しました。
- ・ 第三者後見人が必要な場合は、適切と思われる専門職団体を選定できるよう情報提供を行いました。
- ・ 成年後見制度について、出張講座や包括の広報の場でPRを行いました。
- ・ 近隣の団地で「押し買い」が急増していることから、民生委員の定例会で悪徳商法についての現状などを伝えていきました。
- ・ 一人暮らしを対象にした「おひとりさまの会」を隔月に開催し、毎回約30名の参加がありました。「エンディングノート」「お墓について」など参加者が知りたいテーマを設定し、専門家をお呼びして話を聞いたり情報交換を行いました。
- ・ 法テラスから弁護士を派遣してもらい個別相談会を実施し、社会保険労務士などにつながりました。
- ・ 「こんな時呼んでください」のチラシを作成し、近隣の医療機関、金融機関などに配布し、相談機能の周知や振込詐欺等の防止をしました。
- ・ 「ケアプラフェスタ」においてバーズ広場でプラザ職員による「オレオレ詐欺」寸劇をおこない特殊詐欺防止を図りました。
- ・ ケアプラザのミニデイ（30名）でも「オレオレ詐欺」の寸劇を開催して特殊詐欺防止を図りました。
- ・ 個別の相談では任意後見2名、法定後見1名の支援を行い、後見人等が審判され安心した生活が継続されました。



- ・相談窓口に申請書を常備し、申請書の記入の仕方を説明するなど、相談者の要望に応じて「申し立ての手引き」も一緒に渡しました。最近では病院からの相談も増えています。
  - ・「エンディングノート」区社会福祉士分科会をアレンジして「おひとりさまの会」でも配布をしました。
- 【次年度の課題・目標】
- ・地域の会合において積極的に制度の案内をしていきます。
  - ・エンディングノートについてはプラザだよりなどを通じて場広く周知をしていきます。

## 高齢者虐待

- ・虐待が疑われるケースには、区役所や関係機関と連携を図り迅速に対応しました。カンファレンスを実施することで、支援内容と方向性を統一し、適切な支援を行いました。
  - ・日頃から民生委員や地域住民と交流を持つことで、より迅速な高齢者の実態把握を行い「地域の目」を活かし早期発見に努めました。
  - ・「介護者のつどい」では、介護者向けに介護保険外サービスについての講座や施設見学会を開催し、介護者に情報を提供しました。参加者からは日ごろの悩みなどを打ち明ける場としても継続してほしいと要望がありました。
  - ・「介護者のつどい」「認知症 家族のつどい」では隔月開催し延べ100名近い参加があり、虐待の抑止力になりました。
  - ・区社福士分科会として港南区ケアマネ連絡会で虐待についての研修会を実施しました。約100名の参加があり、虐待の制度やグループワークなどを通して情報の共有を図りました。
  - ・区社会福祉士分科会の虐待班で今年は出前講座を港南中央CP職員向け（50名）、港南区新任CM向け（20名）、港南区訪問介護連絡会（25名）など、高齢者虐待についての出前講座を開催しました。打ち合わせや資料作成などを担いました。
- 【次年度の課題・目標】
- ・早期発見が大原則となっているので民生委員、ケアマネジャー、サービス事業所などとも連携を取りながら対応していきます。
  - ・介護者が孤立しないように「介護者のつどい」「認知症 家族のつどい」への参加を呼び掛けていきます。
  - ・今年度は事業所向けの虐待講座を開催しましたが、来年度は民生委員や自治会町内会向けにもう少し分かりやすい高齢者虐待の講座を開催していきたいと考えています。

## 認知症

- ・「認知症サポーター養成講座」は2つの中学校で毎年実施しております。早い時期から認知症に対する正しい理解を広め、誰もが住みやすい街づくりを目指しました。また老人福祉センターの職員向け、港南郵便局の職員向けと港南台地区センターと共催で地域向けにも実施しました。郵便局員からは近隣にいる認知症と思われる方を郵便局に連れてくるケース等も増えてきていて郵便局としても何か取り組んでいかなくてはならないという声も聞かれました。
- ・「認知症 家族のつどい」では認知症の第一人者の川崎幸クリニックの杉山先生や、神奈川県認知症家族の会の方がアドバイザーとして参加し、参加者に対して貴重なアドバイスをいただきました。毎回、10～12人の参加がありました。
- ・「こんな時呼んでください」のチラシを作り地域の方や店舗に配布をしました。
- ・JAでの出張健康相談にて、脳トレ等を実施して、疑わしい方には適切な支援につなげました。

- ・ イベント「ケアプラフェスタ」において、バースの広場で地区社協の方と認知症についての寸劇や講座を行い、地域の方に認知症の事を分かりやすく説明しました。また、職員による寸劇では、振り込め詐欺について注意喚起を図りました。
- ・ 高齢者の NPO 団体シニアハマカレッジにおいて、認知症についての講座を開催し、認知症の方への対応などについて学んでもらいました。
- ・ 港南台の民生委員が主催しているひとり暮らし高齢者の食事会で、介護保険と認知症の話をして早期受診の必要性や認知症予防の話をしました。
- ・ 港南区の社会福祉士分科会で昨年度プレ開催した「若年性認知症つどい」は、今年から年 2 回開催をしました。2 回目からは包括の各職種と生活支援 Co、地域交流 Co にも入ってもらい、様々な視点で意見を出し合いながら開催しました。近隣の精神科の Dr に協力を仰ぎました。

**【次年度の課題・目標】**

- ・ 今年度同様、認知症になっても地域で安心して暮らしていけるような街づくりを、認知症サポーター講座等のツールを利用して地域の方に広めていきます。住民だけではなく地元企業にも働きかけをしていきます。早期発見対応するためにも地域の会合、老人会などにも積極的に参加するとともにプラザの広報誌、「こんなとき呼んで下さい」チラシなども活用をしていきます。

### 3 介護予防マネジメント

#### 介護予防ケアマネジメント力

- ・ 地域のケアマネジャーから預かったプランは介護保険外サービスや趣味活動なども記入するように付箋にコメントを記入して返却しました。その結果プランの一部ですが、趣味活動や介護保険外のサービスの記入も増えてきています。
- ・ プランの書き方に苦慮しているケアマネジャーには、評価がしやすいように目標設定の仕方を付箋に記入し、また具体策についても例題で記載しました。
- ・ 生活支援コーディネーターと共に、地域の情報（蓬莱荘、コミュニティハウス、地区センター、自治会・集会所）を更新していくと共に、港南台地域の課題を抽出し、総合事業へつなげられるように地域の活動団体や地区社協等に協力を依頼しました。

**【次年度の課題・目標】**

- ・ ケアマネジャーが作成したケアプランが介護保険のサービス記入だけでなく、それ以外の活動内容も網羅されるように普及啓発に努めていきます。
- ・ 今後も地域の情報（蓬莱荘、コミュニティハウス、地区センター、自治会・集会所）を更新していくと共に課題を抽出し、協議体や地域のともに話し合いを進めていきます。

#### 4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

##### 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・ケアマネジャー向け地域活動情報一覧は、ケアプラン返送時などに同封し、介護保険サービスだけでなく、地域での通いの場や助け合い活動を資源として考えることを声かけしました。
  - ・「民生委員・ケアマネジャー連絡票」が提出されている方の近況確認を行い、必要に応じて再提出を依頼しました。
- 【次年度の課題・目標】
- ・民生委員とケアマネジャーとの懇談会の開催やインフォーマルサービス等地域資源の情報収集・整理、情報提供に努めます。
  - ・南部病院との共催で考えているカフェスタイルの意見交換会については、主任ケアマネジャーが28年8月に退職をしたため、後任が決まり次第、進めていきます。

##### 医療・介護の連携推進支援

- ・医福ネット港南は4月に28年度第一回を開催し、140名が参加しました。世話人として企画から出欠管理、当日の運営、アンケートまとめ等を行いました。区内の医師や専門職など身近な人を講師にすることで、顔の見える関係作りに効果が見えました。第二回以降は主任ケアマネジャーの後任不在により、包括支援センターとして世話人としての活動は、FAXの一斉送信やアンケートまとめ等の事務的な部分を行いました。
  - ・ホームケアクリニックと共催の「語る会」を隔月で開催し、5月と7月の2回でクリニックの医師、訪問看護師、ケアマネジャーなど合計20名が集まり、困りごとの相談や意見交換をしました。
- 【次年度の課題・目標】
- ・主任ケアマネジャー入職後は、エリア内の医療機関や薬局等の訪問を計画的に実施します。

##### ケアマネジャー支援

- ・南部病院との研修開催については、8月末で主任ケアマネジャーが退職した後に後任がないことから、今年度は開催を見送りました。
  - ・港南区主任ケアマネジャー分科会と区役所の共催事業として、ケアマネジメント講座を7月に開催しました。52名のケアマネジャーが安心作り安全探しアプローチを用いての面接技法を学びました。
  - ・港南区主任ケアマネジャー分科会共催の「ケアマネサロン」「自主勉強会支援」は計画どおりに開催し、新人からベテランまでが気楽にかかわれるケアプラザとして横の連携が取りやすくなりました。
  - ・新任ケアマネジャー向けの施設見学会のうち特養・小規模多機能・サービス付高齢者向け住宅のコースを担当し、当日の同行や進行を担当しました。
- 【次年度の課題・目標】
- ・南部病院との共催での研修開催を企画していきます。

### 多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- ・個別ケース地域ケア会議は開催できませんでした。
  - ・今年度から始まった、協議体を設立するための話し合いに地域包括支援センターも参加し、医療機関や介護事業所ができる支え合い活動について提案を行いました。
- 【次年度の課題・目標】
- ・住民を交えて支援について検討する場として、個別ケース地域ケア会議の開催を企画します。
  - ・医療機関や介護事業所を地域の支え合い活動に巻き込めるような働きかけを行っていきます。

## 5 介護予防事業

### 介護予防事業

- ・今年度は3月にスリーAの要素を含んだボランティア育成講座を開催しました。それぞれの地域のボランティア活動をされている民生委員、友愛活動推進員、シルバークラブの関係者など様々な方々に参加していただき、港南台地域全体で認知症予防に取り組みました。
  - ・JAの健康相談会ではその時期にあったチラシを配布し、注意喚起をしました。また、5分程度の待ち時間で出来る脳トレや血管年齢測定、肺活量、両手と目を使いながら動きの俊敏性を見る手腕作業能力測定なども実施しました。数字で結果が出るので、ゲーム感覚でチャレンジする方も多くいました。
  - ・「お〜い！らくかい」では若年の認知症の方も参加されており、フォローが必要な方もおられます。参加メンバーの一部の方には見守りや、声掛け等の協力をお願いしました。
- 【次年度の課題・目標】
- ・「お〜い！らくかい」は更にメンバー同士がお互いを見守りし合える関係になるように、仲間意識が持てるような内容を提案していきます。
  - ・スリーAについては、地域の要望があれば随時対応していきます。
  - ・JAの健康相談会はいろいろな健康段階の人達が来所されます。今後も継続し、相談の内容から課題の抽出を今後の事業に活かして行きたいと思えます。

## 6 生活支援体制整備事業

### 生活支援体制整備事業

- ・地域資源リストを作成するにあたり、介護保険を扱うフォーマルサービスの一覧表を作成しました。「福祉施設マップ」として地域住民が活用できるよう連合自治会と地区社会福祉協議会の協賛により発行しました。印刷物の編集及び発行作業についてタウンカフェ（イータウン）とデータ調整など最終作業までを協働して取り組みました。
  - ・昨年度、地域包括支援センターと地域活動交流が協働して単位自治会におけるインフォーマルサービスの聞き取り調査を行い、情報整理した一覧表を作成してヒアリングを実施しました。自治会館や集会所での取組の実態把握に努めました。
  - ・要支援者を住宅地図に落とし込む作業を行い、地域情報の把握に努めました。また要介護被認定率や町丁目別の高齢化率、世帯分類などを地域アセスメントして、地域課題の把握に努めました。
- 【次年度の課題・目標】
- ・引き続き、インフォーマルサービスの実態把握とサービスの創出に向けて、地域資源リストの更新作業を行います。
  - ・要介護被認定率や町丁目別の高齢化率、世帯分類などの地域アセスメントを分析し

て、地域の課題解決に向けた取組を進めていきます。

## 7 その他

### 圏域レベルの協議体の設置・開催

- ・生活支援体制整備事業に伴う協議体の設定に向けた話し合いを実施しました。参加者は連合自治会、地区社会福祉協議会、シルバークラブ連合会、民生委員児童委員、商店会、在宅医療、福祉施設に参加を呼びかけ、区役所、区社会福祉協議会と連携して検討を重ねました。
  - ・すでに地域で取り組む、生活支援サポート事業者の方にご参加いただき、支援ニーズを情報共有し地域特性に見合った仕組み作りを検討しました。
- 【次年度の課題・目標】
- ・協議体を継続し検討を重ねて、地域の支援ニーズの把握、情報共有の場とし、ネットワークの構築、サービスの創出に向けて取り組めます。

### 圏域レベルの目標・取組事項の設定

- ・港南台第3期地域福祉保健計画のリーフレット（福祉マップ）が完成し、地域で暮らす外国人にも活用できるよう外国人と地域課題を検討しました。言葉の壁による生きづらさが顕著になっていることより、地域を知るきっかけとなる福祉マップの活用が取り上げられました。地域で暮らす外国人による翻訳活動が始まり英語、韓国、中国、ベトナムの4か国語の福祉マップを制作しました。地域情報が広く外国人住民に周知されるよう、外国語版の制作を地域住民と協働して取り組みました。配布に関しては、ケアプラザ、南部病院、商業施設（パズ）、地区センター等に置きました。また学校にも情報提供を行いました。
  - ・タウンカフェとは地域の催事（キャンドルナイト）、広報活動を協働して取り組みました。ワークショップ等の開催について、今年度は連合自治会の意見交換会と合同で実施することになり、地域課題の抽出を協働して行いました。
- 【次年度の課題・目標】
- ・地域福祉保健計画の推進に向けて、地域の課題解決に向けた取組を地域住民や関係機関等と協働して取り組みます。

### 具体的な取組事項への着手

- ・地域のシルバークラブや友愛活動推進員の定例会に参加して、地域支援ニーズや支援状況の把握に努めました。
  - ・地域のコンビニやドラッグストアを1層生支C0（区社協）と協働してヒアリングを実施しました。高齢者に特化した取組（荷物の多い場合の配達、高齢者雇用、徘徊者通報など）の実態把握に努めました。
  - ・生活支援サービスをすでに地域で取り組む団体に同行し、活動内容を把握するとともに支援ニーズや地域情報の実態把握に努めました。
- 【次年度の課題・目標】
- ・把握した地域の現状と資源について、関係者間で共有し、地域活動の充実に向けた支援に取り組んでいきます。

# 平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名：港南台地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日  
(単位：千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 ・ 第1号通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援				
収入	指定管理料等収入	17,312	29,048	151					5,789
	介護保険収入					17,292	48,590	3,669	
	その他				13,279				
	認定調査					345			
	その他							412	
	<b>収入合計(A)</b>	<b>17,312</b>	<b>29,048</b>	<b>151</b>	<b>13,279</b>	<b>17,637</b>		<b>52,671</b>	<b>5,789</b>
支出	人件費	10,109	26,871			19,691		45,193	5,287
	事務費	788	2,298			1,761		7,654	
	事業費	191	112	151		961		9,968	247
	管理費	6,527	1,650						
	その他								
	予防プラン委託料				10,343				
	消費税	809							
	指定額	332	611						
	引当金							1,071	
	指定管理料戻入	286	3,364						450
	<b>支出合計(B)</b>	<b>19,042</b>	<b>34,906</b>	<b>151</b>	<b>10,343</b>	<b>22,413</b>		<b>63,886</b>	<b>5,984</b>
	<b>収支 (A) - (B)</b>	<b>-1,730</b>	<b>-5,858</b>	<b>0</b>	<b>2,936</b>	<b>-4,776</b>		<b>-11,215</b>	<b>-195</b>

- ※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。
- ※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。
- ※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

## 平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額				
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出	
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費
みち草	高齢者	38,079	5,479	32,600		38,079
	326人					
	100円					
男性の料理教室	60歳以上	96,776	58,776	38,000	44,545	52,231
	38人					
	1000円					
チャレンジ☆ 男性のパン教室	60歳以上	27,463	1,963	25,500	8,909	18,554
	51人					
	500円					
うたカフェ	地域の方	60,749	5,694	55,055	31,181	29,568
	180人					
	300円					
おもしろ工作教室	4歳～小学6年生	6,682	3,782	2,900	6,682	
	29人					
	100円					
ゆらりんころりん	0～1歳児	26,728	12,628	14,100	26,728	
	107人					
	300円					
ケアプラフェスタ	地域の方	83,923	21,123	62,800	11,137	72,786
	230人					
歯のほのぼの相談室	地域の方	1,155	1,155			1,155
	84人					
音楽のひろば	高齢者	4,000	4,000			4,000
	369人					
ないとくるーず	知的障害の方	3,000	3,000			3,000
	298人					
すずめ学級	1歳児と保護者	73,890	73,890		72,000	1,890
	435人					

事業ごとに別紙に記載してください。

## 平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
介護者のつどい	介護者	2,496	2,496			2,496	
	43人						
認知症 家族のつどい	認知症のご家族	16,362	16,362		11,137	5,225	
	66人						
おひとりさまの会	高齢者	683	683			683	
	176人						
ひまわりホルダー	港南区在住の65歳以上	68,580	35,080	33,500		68,580	
	109人						
	300円						
ボランティア育成講座	地域の方	57,887	57,887		53,458	4,429	
	45人						
お～い！らくかい	高齢者	108	108			108	
	147人						

事業ごとに別紙に記載してください。



# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市港南台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
みち草	<p>&lt;目的&gt; 地域の高齢者の外出の機会を作り、閉じこもり防止、友達作り、日常生活動作の維持を目指します。</p> <p>&lt;内容&gt; 特に目的がなくても気軽に立ち寄り、集まった人同士でお話をしたり、お茶を飲んだり、レクリエーションなど、好きなことをして過ごします。</p>	<p>毎月第1火曜日 (8月を除く)</p> <p>11回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
音楽のひろば	<p>&lt;目的&gt; 音楽を通じて地域の高齢者の外出の機会を作り、孤独防止、友達づくり、日常生活動作の維持を目的としています。</p> <p>&lt;内容&gt; 音楽療法に有効な楽器(トーンチャイム、打楽器など)と手法を用い、治療を目的とするのではなく、音楽療法の効果を維持し、誰もが楽しく気軽に参加できる地域の交流の場です。</p>	<p>毎月第3火曜日 (8月を除く)</p> <p>11回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぺんぺん草の会	<p>&lt;目的&gt; 家族が自由な時間を持てることで、高齢者と家族が地域内で心安らかに暮らすことができることが目標です。</p> <p>&lt;内容&gt; 認知症及び虚弱高齢者を対象に、デイサービス(送迎・食事・レクリエーション)を行います。</p>	<p>毎月第1・2・3木曜日</p> <p>38回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
霜月の会	<p>&lt;目的&gt; 高齢者が健康で安心して暮らすことのできる町を目指しました。高齢者の安否確認を行います。</p> <p>&lt;内容&gt; 一人暮らし、虚弱高齢者を対象に、毎月一回配食サービスを行います。</p>	<p>毎月1回不定期</p> <p>12回</p>

# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市港南台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
青年学級 ないと・くるーず	<p>&lt;目的&gt; 知的障がい者の余暇支援事業です。 ①様々な活動(余暇活動)を通じて生活の幅を広げます。 ②社会参加の促進を図ります。 ③広域の友達作り(他施設、地域住民等)が目的です。</p> <p>&lt;内容&gt; 障がいのあるなしに関わらず、お互いができる所を助けあい、楽しいひと時を過ごします。集まった仲間と夕ごはんを一緒に食べることも楽しみのひとつです。</p>	<p>毎月第3金曜日 (8月を除く)</p> <p>11回実施</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
発達相談 Kama-po	<p>&lt;目的&gt; 乳幼児期の発達に遅れや偏りのみられる障がい児とその親からの相談を受け、ポータージプログラムによる個別指導等を行います。</p> <p>&lt;内容&gt; 障がい児を持つ親の不安や悩みなどの相談を通じて、地域の中で孤立しないようにするとともに、ポータージプログラムの個別指導を行います。</p>	<p>毎月第2土曜日 第2水曜日</p> <p>38回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ポコ・ア・ポコ	<p>&lt;目的&gt; 音楽を使ったポータージ障がい児教育を健常児と交流をしながら行い、障がい児の早期教育の一貫を担うとともに、地域の社会参加のきっかけ作りを目指します。</p> <p>&lt;内容&gt; ヤマハ音楽教室 システム講師 野島先生による音楽を使ったリズム運動、ミュージカル指導です。テーマに沿って作品を作りながら障がい児と健常児の交流を楽しみます。</p>	<p>毎月第2・4金曜日</p> <p>20回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
Ocean (オーシャン)	<p>&lt;目的&gt; 放課後の居場所として小学校は、「はまっこ」等がありますが、中学生になると、部活動や塾などが居場所となることが多く、どこか行く場所はないかといった相談が何件も寄せられました。そこで ①障がいのある中学生・高校生のための放課後の居場所作り ②一人で過ごすことのできる余暇スキルの獲得 ③高校生は職業体験の場の提供 を行います。</p> <p>&lt;内容&gt; 障害者自立支援法の余暇支援を利用し、介助ヘルパーを確保することで、子ども達の安全を確保し、子ども達の放課後の居場所作りを行います。</p>	<p>毎週水曜日 (8月を除く)</p> <p>31回</p>

# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市港南台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ぴよんぴよん	<p>&lt;目的&gt;                      地域で活動できる場所・サークルなどの情報提供も行い、安心して子育てができる基盤作りをしていきます。                      ①子育てをする親の交流の場とし、親のネットワーク作りの支援をします。                      ②子育てに関する相談事業を展開し、親の精神的な支援をします。</p> <p>&lt;内容&gt;                      未就学児とその親が集まるサロンを行います。</p>	毎月第2水曜日  12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
1歳児親子学級「すずめ」	<p>&lt;目的&gt;                      あそび隊の協力により遊びや講師を交えて親と子の関わり方を学習し、地域で活動できる場所・サークルなどの情報提供も行い、安心して楽しく子育てができる基盤作りをしていきます。                      ①子育てをする親の交流の場、親のネットワーク作り支援                      ②子育てに関する相談事業を展開し、親の精神的な支援</p> <p>&lt;内容&gt;                      簡単な遊びや、講師の講義など毎回異なる内容で全10回実施します。</p>	5月17日～ 7月12日  8回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育てまち育て塾「ひろば」	<p>&lt;目的&gt;                      地域で活動できる場所・サークルなどの情報提供も行い、安心して子育てができる基盤作りをしていきます。                      ①子育てをする親の交流の場とし、親のネットワーク作りの支援をします。                      ②子育てに関する相談事業を展開し、親の精神的な支援をします。</p> <p>&lt;内容&gt;                      未就学児とその親が集まるサロンを行います。</p>	第4木曜日 (8月は除く)  18回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
遊びにおいでよ！七夕まつり	<p>&lt;目的&gt;                      ①子育て支援。                      ②地域の子どもたちと保育園児の交流。</p> <p>&lt;内容&gt;                      港南台中央公園にて、行政・地域・保育園が一緒になり、地域の親子・園児とともに七夕祭りを行います。</p>	7月6日  1回

# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市港南台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
支えあいネットワーク	<p>&lt;目的&gt; 自分たちが住んでいる地域を住みやすい、助け合いの街にすることが目的です。</p> <p>&lt;内容&gt; 地域の保健・福祉活動との一体的なサービスの提供、地域の共通した認識によって協働して行動できるよう、地域の福祉保健の関係者（医師、薬剤師、介護支援専門員、民生委員、友愛活動推進員、保健活動推進員、ボランティア団体、区役所、区社協、ケアプラザ等）、地域住民が話し合いに参加。</p>	<p>奇数月第4火曜日</p> <p>6回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
南部病院 健康教室	<p>&lt;目的&gt; 地域住民に病気についての理解を深めてもらい、日常の健康維持・管理に役立ててもらいます。</p> <p>&lt;内容&gt; 南部病院の各科の医師に講師をお願いし、毎月異なる科の講義を聴くことができました。病気の治療法から病気と上手につきあう方法など様々な内容を聴くことができます。</p>	<p>毎月第1土曜日 (1月と8月を除く)</p> <p>10回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
歯のほのぼの相談室	<p>&lt;目的&gt; 口腔内において疾患が発病する前の予防レベル段階を対象とした歯科保健指導を地域住民に普及する場を目指しました。 ①地域保健事業の一貫として、口腔内疾患予防の普及を目指します。 ②各年齢層における歯科保健指導活動によって、「一生を通じて自分の歯で食べることができる」健康で明るい生活を営むことを目指します。</p> <p>&lt;内容&gt; 個別相談を行います。歯のブラッシング指導もあります。</p>	<p>毎月第1, 2, 4月曜日</p> <p>25回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
食事のなんでも相談	<p>&lt;目的&gt; 地域住民に食事や栄養についての疑問や不安を解消してもらい、日常の健康維持・管理に役立ててもらいます。</p> <p>&lt;内容&gt; 地域の管理栄養士に協力をお願いし、食事や栄養についての疑問や不安を相談することができます。食事や栄養についてのアドバイスをもらう事ができます。</p>	<p>毎月第2木曜日</p> <p>11回</p>

# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市港南台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
港南台防災を考える会	<p>&lt;目的&gt; 地域住民が自分たちの地域の事を知ることで地域で災害に備え、日頃から住民同士で助け合える地域にすることを目的にしました。</p> <p>&lt;内容&gt; 南部病院災害対策担当、港南消防署より防災アドバイザーを迎え、講話とグループワークを地域住民と施設職員が一緒に話し合いを行います。</p>	5月10日 7月5日 9月6日 11月1日 1月10日 3月7日  6回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
タッチケア講習会	<p>&lt;目的&gt; 親子の触れ合い(タッチケア)を通して親子の絆を深めます。</p> <p>&lt;内容&gt; タッチケアを通して日頃からの親子の触れ合いの機会を増やし、親子で心身ともに落ち着く方法を学びます。</p>	4月5日 10月26日  2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
よこはまシニアボランティア登録研修会	<p>&lt;目的&gt; 横浜市が実施する「よこはまシニアボランティアポイント事業」の登録研修会を受講して、ボランティア活動を推進します。</p> <p>&lt;内容&gt; 65歳以上の横浜市民が受講して、登録された方にポイントカードが発行され、受入施設でボランティア活動を行うとポイントがたまり、換金や寄付ができます。</p>	8月25日  1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ガイドボランティア研修会	<p>&lt;目的&gt; 障がい者の社会参加のための外出時の付き添いを行うボランティアを育成します。</p> <p>&lt;内容&gt; 障がい児者余暇支援事業に参加しながら、安全に付き添いをして頂くことで安定した事業を継続します。</p>	1月26日  1回

# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市港南台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おもしろ工作教室	<目的> 地域で暮らす未就学児、小学生に気軽に来所できる施設の環境づくりに努めます。 <内容> 夏休み特別企画として工作教室を開催します。	7月30日 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア交流会	<目的> ボランティア活動についての情報交換をし、意見交換などを通してボランティア同士の親睦を深めることで活動の幅(裾野)を広げます。 <内容> 日頃のボランティア活動についての感謝を伝え、ボランティア活動についての情報提供を行い、意見交換を行うことでボランティア同士の親睦を深めるとともにボランティアからの意見や要望の収集を行います。	3月18日 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
次世代につながる自然講座	<目的> 地域の自然を知ること、地域への愛着を高めることを目的とします。 <内容> 瀬上沢の歴史をたどり、遺跡などを紹介しながら未来へ引き継がれるべき魅力を考えていく講座「ホテルのふるさと港南台」を開催します。	5月21日 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数

# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市港南台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者のつどい	<p>&lt;目的&gt; 介護者同士が集うことで不安や孤立感を解消し、介護環境の改善や虐待の防止を図ります。</p> <p>&lt;内容&gt; 介護をしている方が集まり施設見学や情報提供、情報交換等を行います。</p>	<p>偶数月第二金曜日</p> <p>6回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おひとりさまの会	<p>&lt;目的&gt; 独居高齢者の孤独死・孤立死を防ぎ、最後まで自立した生活を送るための学びや啓発の会を開催します。</p> <p>&lt;内容&gt; 各種制度や資源を学ぶことで、絆やつながりを持てるようにします。</p>	<p>奇数月第三水曜日</p> <p>6回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症 家族のつどい	<p>&lt;目的&gt; 認知症の方を介護する家族の情報交換や思いの共有により、孤独感の解消とストレスを軽減する事で、よりより介護や虐待防止を目的としています。</p> <p>&lt;内容&gt; 認知症の方やその家族が集まり、情報提供や情報交換、アドバイザーからの助言等をいただきます。</p>	<p>奇数月第三木曜日</p> <p>6回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	<p>&lt;目的&gt; 認知症になっても年をとっても安心して暮らせる街をつくるため、サポーター（応援者）を養成します。</p> <p>&lt;内容&gt; 認知症を正しく理解し、認知症の方と家族を温かく見守り、自分で出来る範囲で支援して下さる方への認知症講座を開催します。</p>	<p>6月23日</p> <p>9月10日</p> <p>9月24日</p> <p>11月24日</p> <p>4回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
出張講座	<p>&lt;目的&gt; 閉じこもり予防、仲間づくり、介護予防、介護保険等制度の周知をします。</p> <p>&lt;内容&gt; 講座、体操、脳トレをします。</p>	<p>5月12日</p> <p>6月10日</p> <p>6月18日</p> <p>7月16日</p> <p>9月17日</p> <p>10月16日</p> <p>11月20日</p> <p>1月15日</p> <p>1月30日</p> <p>3月6日</p> <p>3月13日</p> <p>11回</p>

# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市港南台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張相談会	<p>&lt;目的&gt; 地域の相談窓口である地域包括支援センターの周知と、気軽に相談できる関係づくりに努めます。</p> <p>&lt;内容&gt; 介護保険の代行申請の他、介護や健康などさまざまな相談への対処。地域の方との交流を図ります。</p>	5月14日 7月9日 11月26日 1月14日 3月11日  5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おーい！らくかい	<p>&lt;目的&gt; 脳と身体を同時に使うことで認知症予防と介護予防を図りました。男性限定とすることで、男性が参加しやすい環境を作ります。</p> <p>&lt;内容&gt; 歴史散策を兼ねたウォーキングや、調理など、認知症予防につながる脳のトレーニングを実施します。</p>	毎月1回  12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
日野・日野南地区民生委員とケアマネジャーの懇談会（日野南・日下CP共催）	<p>&lt;目的&gt; 民生委員と利用者をケアマネジャーが同じ対象者を円滑に支援できるような顔の見える関係作りをします。</p> <p>&lt;内容&gt; 話題提供ののち、意見交換を行います。</p>	2月15日  1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
法テラス出張相談会	<p>&lt;目的&gt; 地域の高齢者や障がい者を対象に法的な問題などの疑問や不安を解消を目的としています。</p> <p>&lt;内容&gt; 3組までの個別相談会を開催します。</p>	6月8日  1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネサロン	<p>&lt;目的&gt; ケアマネジャーが気軽に相談したり勉強できる場を提供します。</p> <p>&lt;内容&gt; ゲストを呼んでのミニ勉強会（薬、法テラス、食事と栄養、サ高住、区社協の役割、看護小規模多機能、認定看護師、MSW）を開催します。</p>	1月と8月を除く 毎月1回  11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
医福ネット港南	<p>&lt;目的&gt; 在宅医療に関する情報交換を行い、各自の啓発と多職種間の連携強化を図ります。</p> <p>&lt;内容&gt; 医師、看護師、薬剤師、ケアマネジャー、サービス提供事業所等の多職種が参加し、講座、事例検討、懇親会を行います。</p>	4月28日 10月6日 2月23日  3回



# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市港南台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
若年性認知症のつどい	<目的> 「若年性認知症のつどい」を開催することで地域の若年性認知症への理解が深まり相談・支援へつながりやすくします。 <内容> 本人はおやつ作りなどのプログラムへ参加し、家族は先輩介護者、医師との懇談会へ参加します。	9月4日 2月5日  2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防普及啓発事業 (菜食健美クラブ)	<目的> 元気なうちから足腰を鍛えて筋力低下を予防します。 <内容> 足腰に負担なく行える体操やウォーキング。また、食事や口腔の講座を行います。	10月18日～ 12月13日  8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域介護予防活動支援事業(こちよいコミュニケーション講座)	<目的> 高齢者が、認知症になっても地域の集まりに参加できるように、認知症への理解を深めていくことを目的としています。 <内容> 3Aの優しい考え方や認知症への理解を深め普及活動を行います。	3月6日～28日  3回